

# 札幌企業市民活動研究会（仮称） の設立について

---

平成20年11月28日  
市民まちづくり局市民自治推進室

# このような経緯で発足を

---

平成20年4月から9月にかけて約60社の企業を訪問し、社会貢献活動に関する考え方や現状などを教えていただきました。

その中で、「社会貢献には関心があるが、どんなことをすれば良いかわからない」「一社で取り組むのは難しいが、何社か集まればできるかも？」といったお声が多く、ありました。

そこで、企業市民としての社会貢献活動について、少しでも参考となれるような場を創り、企業の皆様のお力になりたいと考えました。

---

# こんなことが実現できれば・想い

---

- 参加企業が、自社で行う活動の参考・ヒントになれば
- 企業同士が連携し、研究会ならではの活動が生まれれば
- まちづくり活動団体とも連携し、裾野の広い活動が生まれれば
- 札幌市とも連携し、みんなで役割分担しながら、より素晴らしい活動が生まれれば

# 念のために補足です

---

- 本研究会の活動は、参加企業の社会貢献活動に何かしかの制約を加えるものではありません。参加企業は、本研究会での活動を参考に、各社のお考えでご活動ください。
- 研究会に参加することで、会費のような一律に寄付や協賛をお願いするものではありません。

# 運営方法のイメージです

---

- 札幌市市民まちづくり局市民自治推進室市民活動協働推進担当課が事務局を担当し、幅広い企業の参加を募ります。
- 企業市民活動として実績のある企業に、アドバイスをお願いします。  
(アドバイザー企業)  
アレフ、イオン北海道、コープさっぽろ、サッポロビール、北海道コカ・コーラボトリング、リコー北海道
- 2～3ヶ月に1回程度、定例会を開催し、毎回、テーマを設定して情報共有や議論を行います。定例会への参加は、幅広い企業が都度、自由に参加できることとします。
- 研究会の開催期間は、平成22年度末までを一区切りとします。

# 次回以降の予定は

---

**第2回研究会: 2月6日(金) 14時～17時 会場未定**

**CSRについての理解を深める講演及びワークショップ**

**株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役 足立直樹氏**

- 東京大学理学部、同大学院で生態学を学び、理学博士号を取得。1995年から2002年までは国立環境研究所で熱帯林の研究に従事。1999年から3年間のマレーシア森林研究所(FRIM)勤務の後、コンサルタントとして独立。多くの先進企業に対して、「どうすれば持続可能な社会に貢献できる企業になれるか」、「信頼される企業になるために、何をどのようにすべきか」を中心にコンサルティングを行っています。特に専門としているのは「企業による生物多様性の保全」と「CSR調達(サプライチェーン・マネジメント)」で、アジアにおけるCSRの推進についても力を入れています。
- 東京大学大学院 非常勤講師、環境経営学会 理事、サステナビリティ日本フォーラム(旧GRI日本フォーラム) 運営委員、(財)地球・人間環境フォーラムの客員研究員なども務めています。

**第3回研究会: 4月中旬**

**第1回のアンケート結果なども踏まえて、参加企業のみなさんができるだけ関わりやすい内容や関心の高い内容に関して活動している市民活動団体の話を聞きます。**

例えば、こんな活動が生まれたら。。。。

---

- 何がしかの理由によって学校に行けなくなった子どもたちに、社会のこと、働くということを感じる機会を創れたらいいなあ
    - フリースクールに通う子どもたちを対象とした企業の社会見学ツアー
  
  - 障がいのある人たちが少しでも働くことを通じて、生きる喜びを感じたり、自分らしくいけることができるまちを創れたらいいなあ
    - 障がいのある人たちが通っている作業所を企業の人たちに見学してもらい、アウトソーシングできる業務が無いか？考えてもらいたい
-

# 研究会活動の先にあるもの

---

- 多様化する社会の中で、「新しい公共の担い手」として企業への期待が高まっています。また行財政改革などの側面からも市場化テストの導入など行政と企業の役割分担の再構築が始まっています。
- このような社会環境を踏まえて、研究会で様々なテーマを議論、実践していくことで、企業が新しい公共の担い手として、**新たな公共的なサービス**を生み出し、地域の活力となっていくことを願うものです。そのような状況も札幌スタイルの企業市民活動として夢描きたいと考えています。**ビジネスチャンス**が見つかりますように！